



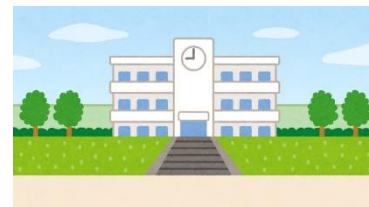
会礼の話（5月）

ゴールデンウィークが終わりました。皆さん、楽しく過ごせましたか。どこかへ出かけた人、家でのおんびり過ごした人と、色々だと思えます。休みの間に蓄えたパワーでこの先も頑張っていきましょう。



さて、今日は、笠原小学校の150周年についてのお話をします。この笠原小学校は、皆さんも知っている通り、今から150年前にできました。できた頃は、まだ「岡崎学校」と「三輪学校」そして「岡崎学校」と「山崎学校」などに分かれていたそうです。それからしばらくたった後、それらが一つになって今の笠原小学校となりました。今から134年前のことです。

では皆さん、この言葉を知っていますか。「鼓涛小学校」これで「こうしょうがっこう」と読みます。皆さんの通う笠原小学校は昔「鼓涛小学校」と呼ばれていました。「鼓」という漢字は見たこともある人もいると思います。「太鼓」の「鼓」ですね。では「涛」の漢字はどんな意味でしょうか。この漢字は、音読みが「トウ」、訓読みが「なみ」で、「大きくうねる海の波」という意味があります。合わせると、「大太鼓のように轟きわたる波の音」という意味になります。



どうして笠原小学校が「鼓涛小学校」と呼ばれたのでしょうか。それは、この笠原小学校が建っている場所に関係があります。校舎の3階から南の方を眺めたことはありませんか。ずっと遠くに海が見えますね。その海を遠州灘といいます。天気が急に変わる時などに、この遠州灘の波の音が遠く笠原地区まで聞こえてくるそうです。その波の音が大太鼓のように響き渡ることから、地域の人たちが笠原小を「鼓涛小学校」と呼んだそうです。とても素敵な名前だと思いませんか。このように、地域の人たちが、自分たちの学校に地域にちなんだ名前を付けてくれるほど、この笠原小学校のことを思ってくれていたと考えると、とてもうれしい気持ちになるとともに、これからはずっと、地域の人たちに気にかけてもらえる学校でありたいと思います。そのための第一歩は、皆さんが元気に学校へ来ることだと思います。ゴールデンウィークも終わり、新しい学年にも慣れた頃だと思います。皆さん一人一人がなりたい自分に向かって頑張っていけるといいですね。

皆さんは、学校で波の音を聞いたことがありますか。残念ながら校長先生はありません。でも、いつかは聞いてみたいと思っています。波の音が聞こえたら、また皆さんにお知らせしますね。

